



ボランティア部門
《食育推進ボランティア》

農林水産大臣賞

NPO法人 霧島食育研究会

(鹿児島県) 活動期間 14年

「食を大切にする文化を霧島に創る」
～無いものをねだるのではなく、有るものを探す～

霧島の食文化の継承と発展

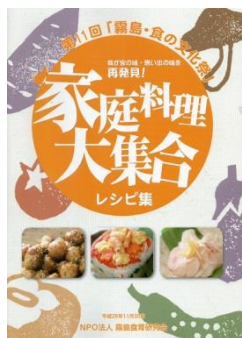
「食を大切にする文化を霧島で創る」ことを目的に平成16年に設立され、地域の暮らし、文化、歴史に根差した食育は、地域資源の魅力の再発見、食と農を軸にした地域おこし、さらに地域に暮らす人の誇りの回復にまでつながっています。「霧島・食の文化祭」の開催の他、食文化継承を目指す人材を育成する「かごしま郷土料理マイスター講座」、「霧島たべもの伝承塾」、「霧島・畑んがっこ」・「棚田食育士養成講座」、「霧島食育サポータークラブ研修会」等、延べ850回の体験活動と550回の講演活動を実施し、これまでの活動参加者は延べ11万人を越えています。



「霧島・食の文化祭」の家庭料理大集合コーナー

子や孫に残したい霧島の食は何ですか

メインの活動である「霧島・食の文化祭」は「子や孫に残したい霧島の食は何ですか」をテーマに開催し、家庭料理の展示・食育ワークショップを行っており、子供から高齢者まで150名の地元ボランティアスタッフにより運営されています。これまでの14回の開催で1500品以上の霧島の家庭料理・郷土料理を記録しています。



霧島の家庭料理大集合レシピ集

食と農で地域再生を目指す

霧島の食文化という地域資源を「無いものをねだるのではなく有るものさがし」の「地元学」の手法を用い、「植え方から食べ方まで」の一貫した食農体験活動や郷土料理継承活動を定期的、長期的に実施しています。さらに、それらの活動のノウハウやレシピ等をテキスト化し、広く内外に継承・広報すると共に、地元の食と農の技術・それに関わる人の思い等を記録する貴重な資料となっています。



「霧島畑んがっこ」で米作り

霧島食育研究会は、「都会の後を追わず、この地の豊かさを実感できる」活動を目指しており、地域の暮らし、文化、歴史に根差した食育は、地域資源の魅力の再発見、食と農を軸にした地域おこし、さらに地域住民の誇りの回復にまでつながっていると確信しています。



NPO法人霧島食育研究会理事長
千葉 しのが